

つなげよう平和の尊さ

令和3年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはご家族お健やかに新しい年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。

昨年、3月以降新型コロナウイルス禍により、私たち遺族会にとって最も大切な英霊顕彰が制限されて、多くの事業の実施が中止または縮小を余儀なくされ、英霊に大変申し訳ない一年でした。

令和3年は、戦後76年目となります。この間、一度も他国との争いもなく平和な暮らしができたのは、若くして志半ばで尊い命を捧げられた英霊の賜物であることをしっかりと次の世代に繋いで、あの忌まわしい戦争の惨禍が二度と繰り返されることのないように、年の初めにあたり皆様と共に祈りたいと思います。

先人が守ってきたくださった平和の尊さは、これから私たちの手によって次世代にしっかりと繋ぎたいと思います。

今年も丑年でもあります。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた貴重な動物でした。大切な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑は「我慢（耐える）」「これから発展する前触れ（芽が出る）」というような年になると言われています。新型コロナウイルス禍が終息し、素晴らしい年となることを祈念し、ここに新年を迎えるにあたり、今は亡き父たちの遺徳に自信を持って次世代に引き継ぐ活動を頑張ってください。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。のご挨拶いたします。



滋賀県遺族会 会長 大長 弥宗治

新年のご挨拶



発行所
一般財団法人滋賀県遺族会
滋賀県大津市におの浜4丁目2-34
滋賀県遺族会館
電話 (077)522-7227
FAX (077)522-7233
発行責任者
滋賀県遺族会会長
大長 弥宗治



滋賀県戦没者遺族大会

規模縮小して 無事開催

滋賀県戦没者遺族大会

壇上で挨拶する大長会長

司会進行は青年委員会の貴多裕美子さんが務めた。

第一部では、国歌演奏（斉唱はなし）、黙祷に続き、大長弥宗治滋賀県遺族会会長が「今年度はコロナ禍により、多くの事業の中止を余儀なくされたが、遺族会活動で最も大切な事業の滋賀県護国神社に於ける『みたま祭』は、関係者のご尽力により斎行することができた。ご祭神である英霊も満足されたことと思う」と挨拶。

続いて表彰式に移り、多めに亘り戦没者遺族援護事業の発展向上に尽力された原幸男さん（彦根市）他4人の方々に滋賀県知事表彰、次に戦没者遺族の援護と福祉増進に尽くされた山崎昇さん（大津市）他22人の方々に滋賀県遺族会長表彰が行われ、被表彰者を代表して原幸男さんが謝辞を述べられた。

次に、来賓として参列いただいた滋賀県知事代理中條絵里副知事、細江正人滋賀県議会議長、地元米原市長代理要石祐一、副市長はじめ来賓の方々から祝辞をいただいた。

来賓紹介、祝電披露の後、地元米原市遺族会の瀬戸川恒雄会長が大会宣言（案）・大会決議文（案）を朗読、参加者全員が拍手で承認し採択された。

第二部では、アトラクションとして一般財団法人詩吟詠錦城会認可滋賀県本部湖北地区の宮川城広理理事長他20人の皆様の詩吟朗詠を拝聴した。プログラムの1番は心

10月24日、令和2年度滋賀県戦没者遺族大会が滋賀県立文化産業交流会館で開催された。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、多くの遺族会行事が中止を余儀なくされる中、感染防止対策に留意して例年の半数以下の約360人が参加して行われた。

司会進行は青年委員会の貴多裕美子さんが務めた。

と挨拶。続いて表彰式に移り、多めに亘り戦没者遺族援護事業の発展向上に尽力された原幸男さん（彦根市）他4人の方々に滋賀県知事表彰、次に戦没者遺族の援護と福祉増進に尽くされた山崎昇さん（大津市）他22人の方々に滋賀県遺族会長表彰が行われ、被表彰者を代表して原幸男さんが謝辞を述べられた。



参加者の感動を呼んだ詩吟の朗詠

安らかに眠っておられる英霊に思いを馳せ、寂寥感から人生の移ろいを覚える「戦没者追悼詩吟」、2番は美しい日本の自然と人々の様子を綴った詩吟物語「雪月花」。朗々と吟じられる詩は大変情緒深く、参加者の魂を揺さぶった。

本年度は規模を縮小した大会であったが、来年度は通常規模の遺族大会として元気な皆様とお出合い出来ることを楽しみにしている。

大東亜戦争が終結して早75年が経過した。悲惨な戦争の歴史を風化させないため、どのようにして戦争の惨めさや怖さを伝え、平和の尊さの気運を高めていくかは我々の大きな課題である。

（総務企画部会 部長 松浦 友二）

滋賀県遺族会館の今後について

標記について、かねてから検討を重ねて参りましたが、令和2年12月19日開催の第222回理事会に於いて、「第2号議案滋賀県遺族会館の今後について」を議題として審議いただきました。

1. すでに判明している耐震強度不足の建物に職員が勤務すること、あるいは会議等を開催することは、大地震が発生した場合に生命の危険が伴う可能性が危惧される。このことから、現在の遺族会事務局を滋賀県厚生会館内の一室を借用し、一般財団法人滋賀県遺族会の事務所とする。

2. 現在の遺族会館については、検討委員会を立ち上げて今後の方針を検討する。

以上の件について採決の結果、全会一致で可決されました。

滋賀県遺族会 会長 大長 弥宗治

令和2年度 滋賀県遺族会会長表彰被表彰者

氏名	市町名	氏名	市町名
山崎 昇	大津市	田中 政美	東近江市
村田 正男	高島市	市田 惠三	東近江市
蕪木 利男	高島市	川戸 健一	東近江市
杉江 好道	草津市	森岡 武夫	竜王町
小田 義一	栗東市	藤岡 暁雄	愛荘町
山田 清一	守山市	廣松 隆也	彦根市
小林 信	野洲市	福田 利男	彦根市
大治 正雄	甲賀市	川崎 昊	長浜市
谷 宗久	湖南市	加納 藤太郎	長浜市
村井 清子	近江八幡市	野田 泰雄	米原市
徳田 美智子	近江八幡市	小菅 正之	多賀町
横山 富男	東近江市		

令和2年度 知事表彰被表彰者

氏名	市町名
原 幸男	彦根市
中澤 光子	東近江市
桂田 孝子	米原市
前田 いそ	愛荘町
間宮 正男	野洲市

コロナ禍で規模・内容を縮小して開催 令和2年度滋賀県戦没者遺族大会

総務企画委員会 委員長 今堀 治夫

10月24日、滋賀県立文化産業交流会館(米原市)において県下戦没者遺族大会が開催されました。

新型コロナウイルスによる感染が蔓延し、滋賀県においても直近9月と10月の2カ月間に1000人を超える新たな感染者が報告されるなど、大変厳しい状況下ではありましたが、遺族会役員の方々や出席いただいた会員の皆様方のご理解とご協力のお陰で、恙なく実施させていただくことが出来ました。ここに深く感謝とお礼を申し上げます。

今年度は、このような社会状況の下での開催であり、7月15日付で制定された「滋賀県遺族会新型コロナウイルス感染症対策指針」に則って、先ず大会の規模については、例年の5割(800人→400人)に縮小させていただきました。そのようなことで、出席していただくことが出来なかつた皆様には大変申し訳なく存じております。

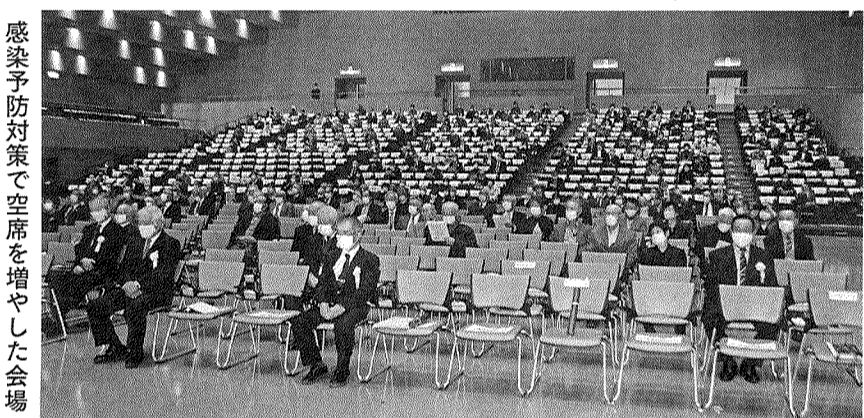
さらに、会場内では、密閉・密集・密接のいわゆる3密を厳に避けるため、会場の全ての扉を開放し外気の導入を図る。席については、着席される席の両側の2席は空席とし、使用禁止の表示を行う。昼食時はもとより、極力会場内での会話は差し控えてもらうなどの対策を、全ての出席者の皆さんのご協力を得て実践することが出来ました。加えて、当日の全体スケジュールについても、例年に比べて2時間の短縮を行ったところでもあります。

新型コロナウイルス禍の中で、毎年3月に実施されている次世代戦跡訪問研修が中止となったことから、今回はその体験発表をしていただくことが出来ませんでした。また、朗読劇についても取り止めとし、来年度に先送りせざるを得ませんでした。

結果として、時間の短縮が出来、少しでもウイルスの感染を避けるというプラスの面が見られる一方で、戦争の悲惨さや理不尽さ、そして二度と戦争を起こさない、起こさせない恒久平和の尊さ大切さを認識し、皆で共有し、後世へ伝えていくための大事なプログラムを割愛せざるを得なかつたことは、大変残念なところでもあります。来年度はこうした課題をきちんと解決できる形で取り組んで参りたいと考えております。

す。いささか気の早いお願いではありますが、日程については、令和3年10月23日に、また会場については、このほど地元遺族会長の協力の下、近江八幡市文化会館を確保できることとなりました。今後県遺族会としての機関決定を経て実施の運びとなります。もとより、この大会は滋賀県遺族会が長きにわたり自主的・主体的に取り組んできたかけがえのない大切な一大行事でありますので、次年度こそは原点に立ち返り、例年以上の有意義な大会となるよう過日総務企画委員会を開催し、関係者一同その決意を新たにしたいと考えております。

会員の皆様のご協力を切にお願いいたしました。令和2年度滋賀県戦没者遺族大会の報告といたします。



感染予防対策で空席を増やした会場

北方領土視察団に参加して

日野町遺族会 瀬川 勲

北方領土返還要求運動滋賀県民会議から派遣された、第38回北方領土視察団に参加し、北方四島を目の当たりに望む機会を得ました。

10月21日から3日間、細江正人滋賀県議会議長を団長に県下市議会議員の方々と県遺族会から奥野義明氏と総勢22人での参加となりました。

今年度はコロナ禍の影響で視察団の人員が例年の半分となり、行程も航空便の減少により厳しい日程となったようです。私の北方領土問題に関する知識は、「終戦の8月15日を過ぎてからソ連軍に占拠され、その後日ソ首脳会談に於いて『平和条約締結後に色丹島と歯舞群島を引き渡す』とされているが、その後何ら進展がしていないこと」程度であります。

根室市の北方四島交流センターで、元島民の河田氏から歯舞群島の多楽島での終戦までの生活、9月4日からのソ連軍駐留の様子、緊急避難の様子やソ連兵との生活の話、日本への強制送還の話等を伺いました。その後、バスで移動中に当時の状況をアニメ画像で見せていただき、より詳しく学ぶことができました。

根室半島の納沙布岬からは、歯舞群島の水島島と手前の貝殻島の灯台が

はつきりと見ることが出来ます。わずか3・7kmの距離ですが、そこはもうロシアが占拠している島で、中間に国境がありそこを超えるとロシア警備隊に捕まることになる

と言われる場所です。根室の漁師の方達は昆布、カニ、ウニの良漁場でありながら危険なため、避けているとのこと、国境の厳しさを感じさせられました。

北方領土視察団の館長のお話で、滋賀県との結びつきについて、近藤重蔵が北海道や国後、

択捉などの領土探検で活躍した後、事情で大溝藩(現在の高島市)にお預けの身となり、その間藩内の人々に感化を及ぼしたと、近江商人も北方領土まで進出し、活躍をしていたことを知ることが出来ました。

3日目には国後島が見える場所まで行き、返還の早期実現を船上から叫ぶ予定が、風雨が強く船が出る事が出来ず、今回の視察のメインでもあり非常に残念でした。

交流会でアニメの主人公の元島民の得能氏と同居することになり、お話をいろいろ伺うことが出来ました。その中で「終戦後2年間、島でソ連の人たちと生活してきた

が、いま島が還ってきても今度は75年間住んできたソ連の人たちを追い出すことは、私たちが追い出された時と同じ思いをさせることになり、出来れば両国民と一緒に生活できるように望んでいる」とのお話が心に残り

ました。今では戦前に住んでいた日本人以上の1万6000人のロシアの人が暮らしているようで、返還の難しさが考えられますが、絶えず返還に向けての声を上げ、一日も早く元島民が戻って生活が出来るとともに、日本の領土である四島が早く返還されるように、私たちが絶えず訴えていかなければならないと強く感じました。



納沙布岬・望郷の岬公園にある北方領土返還記念シンボル像「四島のかけ橋」の前で

特殊詐欺からあなたを守る 『留守番ボタンをポチャッ』作戦!

★★★在宅時家の電話を留守番電話設定にするだけ!【3日月知事からの直筆メッセージ】

詐欺犯は留守番電話につなぐと電話を切ります。メッセージを聞いて、必要なところだけ、掛けないようにしましょう。

「私は大丈夫!」...その自信はどこからですか? 犯人は詐欺のプロです。電話に出て、相手の話を聞いてしまうと、騙されてしまいます。詐欺電話から自分を守るために、在宅時も、常に留守番電話設定にしましょう。ご両親や家族、ご近所の方にも勧めてください。

滋賀県・滋賀県警察

遺族会に参加して

米原市遺族会 藤田 紀代



遺族会に参加させていたで30数年になったと思ひます。その間、数合わせばかりの参加でした。靖國神社参拝もずつと参加しました。そして、今年度図らずも女性委員会委員をさせて頂いた。初めて滋賀県遺族会館へも行って来ました。

その後は新型コロナウイルスの影響で行事は中止が多くなりましたが、米原市の平和祈念式典では戦没者名簿の献納をさせて頂いた。また滋賀県戦没者遺族大会では青年部の方と来賓の湯茶の接待等を

慰霊塔の管理で悩む

大津市遺族連合会副会長 田邊 昭男

令和2年度の滋賀県戦没者遺族大会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、規模を縮小して10月24日に開催され、多くの委員会の皆様のご協力

をいただいで無事行えたことを担当委員会の一人として感謝いたします。他の遺族会行事が中止される中、来年度は正常な大会になるよう願うばかりです。

さて、過日(10月9日)京都新聞を読んでいたとき、ふと小さな記事が目にとまりました。「戦中の忠霊塔強度不足」という見出しで、戦後75年が過ぎ、老朽化した固有の旧日本軍戦没者慰霊施設が岐路に立っているとの内容でした。これを読んで、地元の学区にも3カ所の慰霊塔があり、会員各位も高齢化が進み将来の管理に不安を抱えているところだ。

県下には多くの慰霊塔があり、皆様はどのような管理されているのか一度伺いたいと思う次第です。遺族会としてもこの問題を取り上げて議論していただきたいと思

たまたま通りかかって参拝させていただきました。國松善次さんの護國神社の屏風、とても考えさせられました。国を守るために、自分の命を賭けて戦った沢山の英霊の方たちに、本当に感謝しています。世界から「こんな悲しい戦争がなくたってほしい」といつも思っています。沢山の写真の中に、偶然自分の「ひいおじいちゃん」の写真を見つけました。こちらに来ることが出来て本当に良かったです。(兵庫県 M・Oさん 男性)

現職の自衛官として英霊の諸先輩方にご報告に参りました。この度、幹部となり、「更に国のために尽くす覚悟です」。見守ってくださいれば幸いです。(高松市 Hさん 男性)

東京オリンピックは延期されるし、私たちの生活も一変してしまふ「特別な一年」でした。そして今なお、先行きが見えません。今年、コロナと上手に付き合うウイズコロナの生活方法を見いだし、一日も早く「巣ごもり」状況から脱出し、遺族会の事業もこの状況に適応できる方策を模索せねばならないと考えます。(彦根市遺族会 原 幸男)

父と母の短歌自作を一首ずつ掲載させていただきました。

暑き日に戦場に過ごしたり父の遺影 墓を守りて59年か (平成16年作)

母の像神の庭にて除幕され 在りし日偲び胸熱くなり (平成19年作)

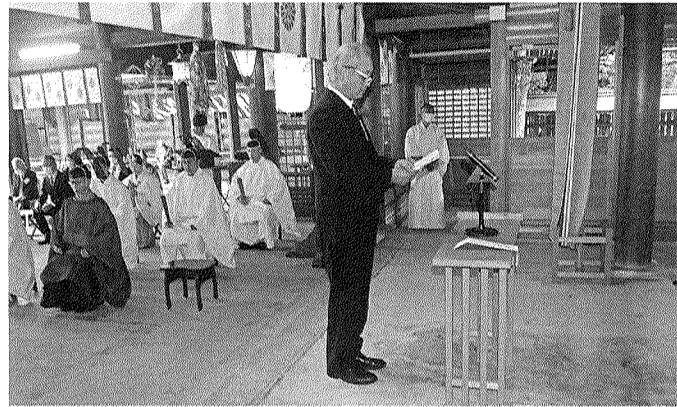
滋賀県護國神社秋季例大祭

10月5日、コロナ禍の中、滋賀県護國神社秋季例大祭が厳粛に斎行された。

今回も、春の大祭同様、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛や各都市町がバスの運行を見合わせたことにより、約100人が手指のアルコール消毒と検温を励行しての参列となった。

山本賢司宮司がご内陣の扉を開け大祭が始まった。祭司により神前にするめ・こんぶ・秋の野菜や水・塩等の神饌物が供えられ、最後に澤本長俊青年委員会委員長が抹茶を献上した。

次に、山本宮司の祝詞奏上、神社本庁よりの幣帛(みてぐら)奉獻、神社本庁献幣使馬淵直樹日吉大社宮司の祭司奏上と続き、角野彰夫滋賀県遺族会副会長が「英霊が家族の安泰と国の平和のために尊い命を捧げ



秋季例大祭で祭文を奏上する角野副会長

られたその心を私たちはしっかりと受け止めて、必ず次の世代に繋げていくことが私たち戦没者遺児の責任

であることを御霊の前でお誓い申し上げます」と大長弥宗治会長の祭文を代読した。続いて、多賀大社舞姫による、御霊を和める「浦安の舞」が奉奏され、次に、来賓・関係者による玉串奉奠が行われた。

最後に山本宮司は「今年度は春先から新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの日常生活も非常に不便で不自由な生活状態にあった。神社・仏閣においては日々コロナ禍の終息を祈願する祭典、祝詞を奏上している。自分のことは自分で守るという認識のもとで、今後とも健やかにお過ごしいただきたい」と結ばれた。

さて、護國神社の秋季例大祭が斎行された平成27年10月5日、遺族会を引き継ぐ後継者として青年部が4月に結成されたことを記念して、軍馬・軍犬・軍鳩の慰霊碑横に、なん



なんじゃもんじゃの木

じゃもんじゃの木(一葉たごひとつばたご)が植樹されたが、いささか元気がない。

一葉たごは成木で樹高20mを超える大型の落葉高木である。日本に於いて本種は希少種のひとつであり、日当たりの良い、やや湿り気のある土を好み、乾燥する場所ではうまく育たないとされている。生育条件が適さないのかも知れない。

青年部には、すくすくと大きく育ってほしいものである。(広報 川合 良雄)

滋賀県平和祈念館だより

第27回企画展示

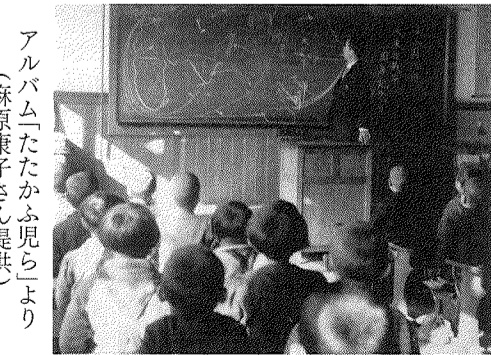
戦争と教師たち

— 学校・子どもたち・戦場 —

戦時中、教師たちは「国のために命を捧げる教育」を行うことを命じられました。戦争が激しさを増す中、身を挺して子どもたちを守ろうとした教師、兵士として戦地へ赴いた教師たちがいました。本展では、時代に翻弄された教師たちの姿を体験談やモノ資料で紹介します。

～2月21日(日)まで〈入館無料〉

滋賀県平和祈念館 (東近江市下中野町431)
TEL0749-46-0300
開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
休館日 月・火曜日(祝日の場合は開館)
駐車場 約50台(無料)



アルバム「たたかふ児ら」より (麻原康子さん提供)

おひさまのみ

「守山空襲」を冊子に

守山市遺族会会長 山川 芳志郎

守山市遺族会は昨夏も28回目を数える伝統の「平和のよるこび展」を開催しました。守山市制施行50周年を迎えたこともあり、「守山空襲」を特別企画として開催しました。詳細は「遺族の友」第264号（令和2年10月31日発行）を参照ください。例年ですと1週間で約300人の来場者ですが、昨年は827人と約3倍近い来場者があり感激しました。ところが、アンケート結果を見る限りこの守山空襲を知っている人はごく少数でショックでした。

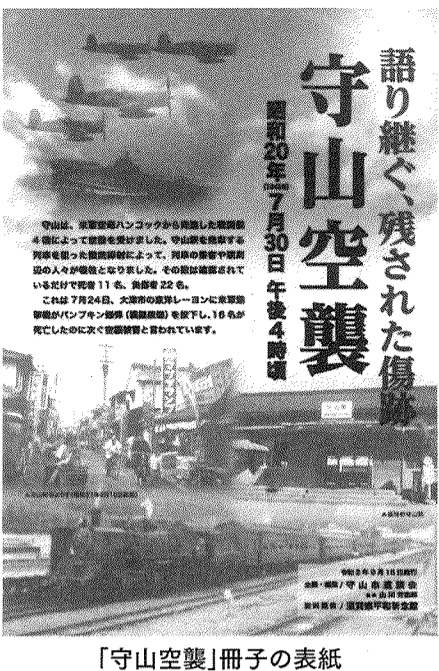
戦争の悲劇が風化されていると言われますが、まさに守山市でも顕著に表れていたのです。「このままではダメだ、何とかしよう」と話が盛り上がり、史実に基づく正しい内容の守山空襲を冊子に残すことにしました。

出来上がった冊子は写真を見てください。A4判、6ページ3つ折り仕様です。残された傷跡を表記することができ、風化防止に少しは役立つのではないかと自負しています。

今年も修学旅行が小・中学校ともなくなり、特に小学校の修学旅行行事前学習がなくなり、私の出番がなくなり寂しい限りです。

そんな中で、守山市立中洲小学校でこんな取り組みがありました。昨年11月27日、平和学習の一環として私に講話の依頼があり、早速この冊子を使って話しました。子どもたちは平和で豊かなこの守山市でこんな悲劇があったことにびっくりした様子でした。

今後日帰りバス遠足が計画されており、計画では滋賀県平和祈念館見学が進行しています。



「守山空襲」冊子の表紙

とブルーメの丘に寄ることでした。私は、冊子に出てくる吉身共同墓地の6体地蔵の実物見学や八日市飛行場跡に残る掩体壕見学を提案しました。当時、八日市には大きな飛行場があり、飛行機を米軍機に見つからないようにこの掩体壕に隠したことから、悪戦苦闘したことを想像して欲しいと思います。

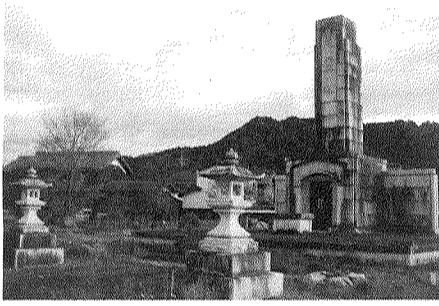
活動を通して思うこと

甲良町遺族会 藤原 新祐

甲良町の戦没者は291人。5年前の遺族会員は139人（親会5人、遺児12人）であったのが、現在の会員数は89人（内遺児7人）と、年々減少の一途をたどっています。また、様々な理由で解散される自治会があり、町遺族会の運営や町内にある忠霊塔・忠魂碑の維持・管理の問題にも支障が出てきました。中でも数年前から忠霊塔の石版が剥がれ落ち、内部への雨漏りなどで塔の劣化が進行しています。

そこで当遺族会では、町行政との話し合いを持って次の2点を要望しています。

- ①学区毎に設置されている慰霊碑を1つにし、町の中心部に設ける。
- ②慰霊碑は町全体のものとなるよう行政と遺族会、関係する機関・団体で実行委員会を設け検討する。



経年劣化が進行している甲良町の忠霊塔

現在、電話依頼が入っているのは済んだものも含め中学校1校、小学校2校、社会団体大小併せて3団体と少ないですが、この冊子を使い「語り継ぐ、残された傷跡」を合い言葉に次世代や成人に語り継ぎ、平和の尊さ、人と人との殺し合いの酷さ・不合理さを訴えていきたいと思っています。

グランドゴルフ大会開催

新旭町遺族会 川合 良雄

10月30日午後1時から新旭町湖畔の源氏浜グランドゴルフ場で新旭町遺族会親睦グランドゴルフ大会を開催した。平成21年から会員の親睦のために始めたこの大会は毎年開催し、今回で12回目となる。

例年、新旭森林スポーツ公園多目的グランドで開催していたが、今回は気分転換で場所を変更しての開催となった。このグランドゴルフ場は、午

平和はそこに立ち止まって存在し続けてくれるものではなく、毎日創り続けていくものである。私たちが一人ひとりの何気ない行動の積み重ねで創られていくと考えているところだ。

前中クラブのメンバーが練習を行っている。ホールポスト等をそのままにすればコース設定をする必要が非常に楽である。

グランドゴルフは、昭和57年に鳥取県東伯郡泊村生涯スポーツ活動推進事業の一環として、泊村教育委員会が中心になり考案された。高度な技術が必要とせず、しかも全力を出す場面と、集中力



湖畔にある専用コースで開催

愛荘町長に要望書提出

愛荘町遺族会 吉岡 武彦

愛荘町遺族会は10月12日、有村国知町長と面会し、現下の遺族会の抱える諸課題について土田幸夫会長が要望書を提出するとともに、意見交換を行いました。具体的には、

- ①町内忠魂碑の維持管理について
- ②「平和のつどい」を町民の行事として、広く町民の参加と献花の呼びかけ
- ③次世代戦跡訪問研修事業への町教育委員会の協

- ④戦跡慰霊巡拝（近江の塔、海外戦跡慰霊巡拝）に花輪・献花等をお願いしたい
- ⑤遺族会主催の諸行事（県追悼式、県下戦没者遺族大会）への町バスの運行をお願いしたい
- ⑥以上について次の回答をいただいた。
- ⑦従来通り継続して対応したい
- ⑧今後、啓発や広報等で



有村町長に要望書を提出する土田会長

- ⑨町民の参加を促すように努めていく
- ⑩町内の学校に協力を求められるよう町教育委員会と調整する
- ⑪他市町等の情報収集を行い検討する
- ⑫今後とも継続して利用できるように努める
- ⑬以上私たちが要望に十分なお答えはいただけないもの、遺族会の置かれている現状を認識いただき、有意義な場となり、感謝申し上げます。
- ⑭遺族会の会員も高齢化し、諸行事の遂行に支障を来す中、国・県・市町が責任を持って、慰霊と平和の尊さをしっかりと次の世代に語り継いでいただくことを強く願うものです。